

関東大震災



*内藤家文書（下松市）584「関東大震災記」

解説

1923（大正12）年9月1日に起こった関東大震災により、東京・横浜を中心とする地域は壊滅状態になりました。

この震災は様々なメディアにより記録され、全国に伝えられました。左の写真は、震災1カ月後に朝日新聞社から出版された「関東大震災記」で、被害直後の様子が伝えられています。

下の写真は震災1年後の大阪毎日新聞の付録で、鳥瞰図画家吉田初三郎による被災地の鳥瞰図の裏に、震災後1年の時点での復興の様子が記されています。これにより、震災前後における世帯数・人口数の増減、交通通信網・水道・ガス・電灯の復旧、学校の再開の様子がわかります。



*武永家文書922「関東震災全地域鳥瞰図絵」（写真上）

*この他、絵葉書などの形で被害の状況が伝えられました（梶山家文書1810-1～6「関東大震災・日本未曾有災害実況はがき」、月輪寺文書212-52～54「関東大震災絵はがき」）。

*行政文書 戦前A総務1559「震災救護事務」は震災援護事務の記録で、山口県から被災地への援助の様子を窺うことができます。